

令和2年度
学校関係者評価結果報告

専門学校久留米自動車工科大学校

1. 学校関係者評価の目的

専門学校久留米自動車工科大学校における学校関係者評価は、「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って、以下のことを目的として実施するものとする。

- ①自己点検評価の評価結果について学校外の関係者による評価を行い、自己点検評価結果の客観性・透明性を高めること。
- ②学生・卒業生、関係業界、中学校・高等学校等、保護者、地域住民、所轄庁・自治体の関係部局など、専修学校と密接に関係する方の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ること。

2. 学校関係者評価委員の構成

学校関係者評価委員は、以下の人員で構成する。

- ・実務に関する知識・技術・技能について知見のある企業職員 1名
- ・業界団体役員 1名
- ・卒業生 1名
- ・保護者代表 1名

3. 学校関係者評価の実施方法

令和3年8月3日（火）

専門学校久留米自動車工科大学校 会議室にて実施

学校関係者評価委員には事前に自己点検評価書類を送付。

学校側から自己点検に関する項目毎の概要説明と重要案件では具体例を用いて詳細に説明した。

教職員との意見交換を通して得られた提案等の特記事項として記載した。

4. 各項目における学校関係者評価

* 評価表記： 4・・・適切 3・・・ほぼ適切 2・・・やや不適切 1・・・不適切

(1) 教育理念・目標について

【項目総括】 教育理念・目標については、以下の4項目について説明した。 この中心項目である「3つのポリシー」は教育理念を反映しており、具体性もある。 この教育理念はホームページ（以下「HP」と記す）や学生便覧等を利用し広く周知している。 授業計画（シラバス）は早期に着手し、教育課程編成委員会の意見を反映しながら作成している。 近年の社会環境変化における多様な生徒（学力が劣る生徒を含む）においては、一人の社会人として自立できるような教育方針を実践している。		
【特記事項】 委員からは、現在は国家資格取得だけでなく、社会人として自立するための教育が大変重要であるという認識から当校の教育方針を支持するとの意見を頂戴した。		
【点検事項】	自己点検 評価	学校関係者 評価
教育理念や目標を具体的に定めているか。3つのポリシーが反映されているか。	4	4
教育理念・目標が明示され、教職員・学生などステークホルダー（学校を取巻く利害関係者）に周知されているか。	4	4
給育理念・目標に基づき、適切な授業計画を作成し、教職員統一した方向性を持って授業運営されているか	4	4
学校を取り巻く社会環境変化に対応し、必要に応じて教育理念・目標を柔軟に見直しているか	4	4

(2) 事業計画に沿った学校運営

【項目総括】 事業計画の作成および運用、監査指摘等に伴う改善計画作成、事業計画の情報公開という以下の3項目に関しては、すべてにおいて、法人本部の指示のもと適正に実施している。		
【特記事項】 本件に関して質問、意見は特になかった。		
【点検事項】	自己点検 評価	学校関係者 評価
単年度事業計画と予算は、法人の正当な手続きの基づき作成・決定されているか	4	4
毎年の個別事業の実施成果を評価すると共に、評価に対応した改善計画を作成しているか	4	4
事業計画及び事業報告書並びに予算・決算等を広く情報公開しているか	4	4

(3) 教育理念・目標に基づいた学校全体の教育活動・個別の教育活動

<p>【項目総括】</p> <p>入学から在学期間における教育活動における以下の8項目について説明を行った。</p> <p>重複するが、先述したとおりシラバスおよびカリキュラムについては、教育理念を反映し、教育課程編成委員会の助言を加味したものになっており、産業界のニーズを十分に反映したものになっている。生徒個々に目を行き届かせるために、2級自動車工学科を2クラス制にしたこと、実習においても小グループにすることで、教育効果を上げていることについて説明した。</p> <p>新たに加入した若手教師陣が積極的に新たな授業手法を講じることによって、学校全体の成績向上が確認できている。</p>		
<p>【特記事項】</p> <p>本件に関して質問、意見は特になかった。</p>		
<p>【点検事項】</p>	自己点検 評価	学校関係者 評価
学生受入れの方針の設定、受入れ方法の設定・検診・適切な受入数の確保ができているか	4	4
教育理念・目標に基づいた教育を展開するためのカリキュラムポリシーの設定が成されているか	4	4
カリキュラムポリシーは教職員に共有化されているか、広く公開されているか	4	4
シラバス（授業プラン）は教育理念を反映されたものであるか	4	4
シラバスの内容は教職員に共有化されているか、また公開されているか	4	4
職業教育としての専門性確保のため、産業界のニーズを反映したカリキュラムとなっているか	4	4
教育内容、学生状況に対応したクラス編成としているか 個別授業の展開など授業方法を工夫しているか	3	3
個々の授業に対する学生の満足度を高めるために、授業内容及び授業方法の改善に取り組んでいるか	4	4

(4) 学修成果の実現向上

<p>【項目総括】</p> <p>生徒の学修成果向上における以下の7項目について、先述した新たな授業手法の導入や補修授業方法の変更、補修授業方法の変更に伴う国家試験対策授業の充実などにより、学修の成果向上は確実に表れている。</p> <p>国家資格取得率は全国平均以上を確保しており、10年連続での就職内定率の達成、退学者数の減少など、現在実践している各種の教育手法が効果的であることを証明しているとの報告を行った。</p>

【特記事項】 本件に関して質問、意見は特になかった。		
【点検事項】	自己点検 評価	学校関係者 評価
履修認定基準は公正であるか、その基準に基づく履修であると確認しているか	4	4
各学科卒業生及び修了生の資格試験の合格率は向上しているか	4	4
各学科卒業生の就職率は向上しているか	4	4
履修状況（出席状況・期末試験の結果）に応じた学修支援は十分か	4	4
各学科の課程修了に応じた進級率は向上しているか（留年率は減少しているか）	4	4
退学率は減少しているか、また退学に至るまでの対応は適切であるか	3	3
資格試験合格及び就職試験合格のために、特別な対策（特別授業等）を実施しているか	4	4

(5) 学生の教育及び生活における課題解決に対する支援

【項目総括】 以下の5項目に掲げた学生における課題解決の中で、安定した学習環境の提供、精神的課題を抱えた生徒への対応に対し、具体例をあげて説明した。 コロナ禍における安定した学習環境提供のために実践している教室等の工夫、全学年一斉実習を取り止めて学年別に実習時間をずらし、3密を避ける方式へ変更したことを報告した。 就学における経済的問題に関しては十分に対応しているが、年を追うごとに延納・分納が増加している。国の修学支援給付奨学金は38名が該当し、約17,000千円が支給されている。		
【特記事項】 多様な生徒が在籍するなか、精神的課題を抱える生徒に対しては、現在も今後も大変重要な案件であることから、様々な知恵を出しながら、学校および学校関係者全体で対応していきたいとの提案がなされた。		
【点検事項】	自己点検 評価	学校関係者 評価
学生の教育課題を把握し、課題への対応を検討・実施しているか	3	3

学生の日常生活の課題を把握し、安定した学修環境を提供しているか	4	4
学生の精神的な課題を早期に発見し、専門的で個別指導を促すことを実行できているか	3	3
就学の経済問題の相談に対し、国・県の支援制度を活用しているか	4	4
就学の経済問題の相談に対し、校納金の延納、分納、奨学金制度等の情報提供を行っているか	4	4

(6) 教育環境

<p>【項目総括】</p> <p>教育環境に伴う以下の3項目について課題と今後の方針を説明した。</p> <p>実習教材に関しては、老朽化した教材の入れ替えは適宜実施しており、現在のところ、過不足はないと報告した。</p> <p>しかしながら、2年生用の実習車両が老朽化しており、入れ替えを検討する時期にきている。</p> <p>2035年からの内燃機関車両の制限（電動化）を鑑み、どのような車種とするのが適切なのか、またその費用はどのようにするのか、といった問題があるとの報告をした。</p> <p>学校施設の老朽化に伴う施設改修に関しては、今後、中・長期計画を策定するなかで、施設改修計画を盛り込み、優先順位の高い案件から実施したい旨の説明をした。</p> <p>学生の福利厚生の実現については、学生寮の改修や談話室（更衣室の改修）設置など、中・長期計画のなかで、費用や設置場所等を考慮しながら実行していきたい。</p>		
<p>【特記事項】</p> <p>本件に関して質問、意見は特になかった。</p>		
【点検事項】	自己点検 評価	学校関係者 評価
自動車の整備技術の進化に対応し、実習教材を整備・充実させているか	3	3
学生の在籍状況に応じた学習施設の維持・補修を行い、必要に応じて教育機能の充実に取り組んでいるか	3	3
学生の福利厚生施設の検討を行い、必要に応じて整備しているか	3	3

(7) 学生募集の充実とマネジメント

<p>【項目総括】</p> <p>主に学生募集に関する以下の7項目について説明した。</p> <p>現在、当校の学生募集方法はHPやweb広告を中心とした電子情報媒体を活用した広報方式である。マンパワーを利用したかつての広報方式から電子情報媒体を活用した現在の広報方式に変更した長所として、広報地域の拡大、広告費用の重点配分、通年24時間の情報提供が可能であることなどから、広報効果の向上や事務組織のスリム化を達成できた。</p> <p>コロナ禍でのOCは完全予約制での少人数且つ短時間のOCとしたが、教師とface to faceの方式が功を奏したのか、参加人数は昨年度より減少したが、OCからの入学率は向上し、最終的に入学者数は前年度比で16名の増加となった。</p> <p>継続的経営における財政基盤については、法人全体では黒字経営である。</p> <p>当校単体での収支は厳しい状況であると言わざるを得ないが、毎年90名程度の入学者を確保すれば、継続的な学校運営は十分に可能であると説明した。</p>		
<p>【特記事項】</p> <p>本件に関して質問、意見は特になかった。</p>		
<p>【点検事項】</p>	自己点検 評価	学校関係者 評価
入学生及び在籍学生の確保に努めたか	4	4
学生募集を強化し、全学科合わせて目標の入学生を確保できているか	4	4
入学生確保のためのOC開催、WEB広告充実など多様な学生募集の展開を実施しているか	4	4
入学者確保及び在校生の確保による収入の増加と経常的支出を計画的に削減することで収支安定を図っているか	4	4
経営収支の改善による継続的學校運営に必要な財務基盤は確立されているか、またはその見通しはあるか	3	3
自動車整備士養成第1種施設に即した選任教員の確保と配置は適切か	4	4
教職員の資質・能力向上に向けた研修を実施したか	3	3

(8) ガバナンスとコンプライアンスの確保

【項目総括】 学校の組織的運営や法令順守、各種監査指摘における対応という以下の3項目について、法人本部の指示のもと適正に実施していることを報告した。		
【特記事項】 本件に関して質問、意見は特になかった。		
【点検事項】	自己点検 評価	学校関係者 評価
学校の組織的運営確保のため、職員会議をはじめとする各種会議の適正な開催と組織的な統制は確保されているか	4	4
法令の順守をはじめとする社会的な組織責任を果たす規律は確保されているか	4	4
法人理事会・評議委員会の意思決定及び法人監査による監査指摘への対応に基づく円滑な学校運営はなされているか	4	4